

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

平成 31 年 2 月発行 108-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail：honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

ヤップ病院の新年会とお手玉遊び

『北村義雄ヤップ通信』第 5 回



毎年恒例で 1 月の病院の仕事始めの時期に新年会を行うとのことで参加しました。といってもヤップではお正月は 1 日だけが祝日で、2 日からは通常勤務です。年末は 30 日まで仕事でカウントダウンの催しもありません。ほんとに静かなお正月でした。新年会の参加者は病院に勤務している職員とその家族友人です。ざっと 200 人はおられたと思います。食べ物は用意されていたロー

カル食をいただきました。その後、各部門ごとで出し物をするようになっていて、私の所属する管理部門は歌とお手玉遊びをしました。歌は 2 曲でしたが、その内の 1 曲は「きよしこの夜」で英語版と日本語版の 2 種類を歌い、日本語版では私がマイクを持ち皆と歌いました。そのあとお手玉遊びの紹介をしましたが、JICA メンバー以外に現地の方お一人も入っていただきました。(写真上：用意されたローカル食、右：みんなで合唱)



以前にもお話ししたかと思いますが、ここヤップでは小学生の時にお手玉遊びを競技として行っていますので大概

の方が出来ます。今回一緒にしていただいた方もほとんど落とさずに両手 3 個ゆりをします。その後お手玉を借りに来てお手玉遊びをされる方が増えてきました。ヤップでお手玉遊びのことを「マチュオチ」というそうで、投げ玉として石ころを使ったり、パッションフルーツ（キンカン大のもの）を



使って遊ぶとのこと。布のお手玉はないとのことで、出演いただいた方からの希望もありましたので布、針、ペレット、糸そして英語版のお手玉の作り方をコピーして差し上げました。(写真左：北村さんと現地の人のお手玉)

その方は、小学生とつながりのある方で小学生に作り方を教えてみたいと言われていました。ペレットに代わるものとして、貝殻や珊瑚礁を入れるのも

工夫ではないかとお教えしました。(日本のお手玉の会副会長 北村義雄)